

県内経済の動き

概況

〔12月～2月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（12月）は前月比低下・前年同月比上昇。輸出額（1月 細島港）は14カ月連続で前年比減少した。百貨店・スーパー販売額（1月 全店ベース）は前年比13カ月ぶりに増加し、「軽」を含む乗用車の販売台数（2月）及び新設住宅着工戸数（1月）は、前年比4カ月連続で増加した。公共工事（1月 保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年を下回った。有効求人倍率（1月：1.33倍）は、前月比0.05ポイント上昇した。2月の企業倒産件数は、52カ月連続1ケタ台で推移。

県内経済は、生産活動が一進一退で推移しているものの、個人消費に明るい動きがみられるなど、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。 （厚地）